

医薬品安全使用ニュース

【再報】

カリウム注射薬の投与方法について

効能・効果：電解質補液の電解質補正



概要

カリウムの補給に広く用いられているカリウム注射薬について、当院の医療安全管理マニュアルでは濃度・速度・1日量を下記のように定めています

- ・カリウムの濃度は、希釈後40mEq/L(カリウムイオンとして)を超えない
- ・カリウムの投与速度は、20mEq/hrを超えない
- ・カリウムの1日総投与量は100mEqを超えない
- ・カリウム含有の輸液で希釈する場合は、そのカリウム濃度も考慮する

注意すべきポイント

カリウム注射薬は、急速静注により不整脈や心停止を起こす恐れがあります

これまでに、誤って急速静注した事例が複数報告されています。また、当院採用品は、三方活栓や他の機器との接続ができない構造となっている誤投与防止対策品であるため、**通常の注射器に吸い取ることはしないで下さい。**

※集中治療等においてやむを得ず高濃度KCL(2.5倍希釈)を投与する際につきましては、別途未承認新規医薬品等評価部で定められた投与方法を遵守していただくようお願いいたします。

参考資料

- ・カリウム製剤の投与方法間違い(医療事故情報収集等事業 医療安全情報No.98)
https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_98.pdf
- ・カリウム(K)製剤の誤投与について(PMDA医療安全情報No.19)
<https://www.pmda.go.jp/files/000144382.pdf>